

八
卷
機

大政官文庫
和書門
七八四二
六一九四
四八二

内閣文庫
和書類
七八四二
三冊
一七二函
架

内閣文庫	
番號	和 7842
冊數	6 (4)
函號	特 122 5

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G
Y
M

© Kodak 2007 TM: Kodak



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

素の常八重橋

下園録

一 鬼男ヶ滝

蓮城寺

一 古備乃杜

一 正覺寺

竹林寺
射塚

一 富古檀現

一 石持堂

安新寺
松深堂
五輪堂
小塔院
大師

一 元興寺

湯乃乃
八重子乃乃

二十輪院

法親王の御所
法親王の御所

一坊樂院

法親王の御所
法親王の御所

鬼界寺

一為とあるは... 此の寺は平安城乃法務寺の御所... 寛文十一年... 此の寺は平安城乃法務寺の御所... 寛文十一年... 此の寺は平安城乃法務寺の御所... 寛文十一年...



三浦のりり

此処と其の玉の橋よけり橋をて遊ばしとりのひをいとのひ
 か—と此源氏乃清世とありては日乃山光寺と建立てり
 去る後寛平月経なる由は兎家乃橋とて入るの由なる
 世にもそのは修治のりりしてとらね—東師堂とて修治のりり
 中薬師とて修治のりりしてとらね—東師堂とて修治のりり
 高昌乃新茶師乃りりしてとらね—東師堂とて修治のりり

備乃森

連珠寺

上流あり乃幸よわたりてのりり乃りり月もるまのりり
 け吉飯あり乃幸よわたりてのりり乃りり月もるまのりり
 先に糸代乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり
 乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり
 乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり
 乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり
 乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり
 乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり乃りり

わが所大百八入定ありけり
は賢成なるありけり
此の安河原乃地也
うゝは是王権現乃法中
ん乃ちんたるありけり
と修す者年よりひ家
古福堂より南へゆあり
小塔院といふありけり
世の事小僧長一尺あり
末寺といふありけり
西井といふありけり
又時の寺勢
空双乃権現と勧修と

元興寺

元興寺といふ者には
仁賢等平代
はま子

わが所大百八入定ありけり
は賢成なるありけり
此の安河原乃地也
うゝは是王権現乃法中
ん乃ちんたるありけり
と修す者年よりひ家
古福堂より南へゆあり
小塔院といふありけり
世の事小僧長一尺あり
末寺といふありけり
西井といふありけり
又時の寺勢
空双乃権現と勧修と

因年備乃何人... (vertical text on the right page)

織塔と... (vertical text on the left page)

弘明の年乃歳軍二つと紀菴高野山とのありた
わくげあるありとわが公らとて守りて無き大神
丹生明神とていふも使乃林ありつて業垢といふ
薩那那ありとていふも使乃林ありつて業垢といふ
高野山とていふも使乃林ありつて業垢といふ
かむらゆいん秘法興津乃地とていふも使乃林ありつて業垢といふ
乃多寶塔とて建つて去て佛乃所持乃宝鏡と安き
とていふも使乃林ありつて業垢といふ
の内九條乃東寺とありて女人乃高野とて安き
久乃乃持前とありて女人乃高野とて安き
とていふも使乃林ありつて業垢といふ
中二歳ありて紀菴高野山令剛守寺興院乃不
守とて信せし乃歳乃春秋とありて無き
紀菴高野山令剛守寺興院乃不守とて信せし
乃高野山令剛守寺興院乃不守とて信せし
とていふも使乃林ありつて業垢といふ

栂樂院

高野山 栂樂院

此乃高野山とて紀菴高野山とのありた
わくげあるありとわが公らとて守りて無き大神
丹生明神とていふも使乃林ありつて業垢といふ
薩那那ありとていふも使乃林ありつて業垢といふ
高野山とていふも使乃林ありつて業垢といふ
かむらゆいん秘法興津乃地とていふも使乃林ありつて業垢といふ
乃多寶塔とて建つて去て佛乃所持乃宝鏡と安き
とていふも使乃林ありつて業垢といふ
の内九條乃東寺とありて女人乃高野とて安き
久乃乃持前とありて女人乃高野とて安き
とていふも使乃林ありつて業垢といふ
中二歳ありて紀菴高野山令剛守寺興院乃不
守とて信せし乃歳乃春秋とありて無き
紀菴高野山令剛守寺興院乃不守とて信せし
乃高野山令剛守寺興院乃不守とて信せし
とていふも使乃林ありつて業垢といふ

梵徳とあるはと教えをいひては性なりと云ふなり
形と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
よありと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
乃其意と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
凡人信う知んてなるはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
智光といは後よりわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
於光法師 和名乃海つと云ふは性生極の如し
しはまのらた妙音と云ふは性生極の如し
乃其意と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
あつと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
一寺乃信儀曰法乃と云ふは性生極の如し
其のら月去年と云ふは性生極の如し
乃其意と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
の氣色と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
鳥腦乃る之金瓶と云ふは性生極の如し

いと貴くありて教え法師乃其意と云ふは性生極の如し
さうと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
頃乃時行経堂外と云ふは性生極の如し
深勸乃佛乃其意と云ふは性生極の如し
本と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
ありありと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
いふと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
不礼と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
とつと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
法師和名乃紅海と云ふは性生極の如し
ありありと云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
乃其意と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
のら物と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し
栴列多田院 万代の権現乃別當と云ふは性生極の如し
高院と云ふはわづらひの如き一代の事と云ふは性生極の如し

花鳥寺の河を和守よりなる花鳥川と云ふは河をたぐるに
 向ふにありて河のほとりて花鳥寺と云ふは河をたぐるに
 てゆつたところをいふと云ふは福地院と云ふは河をたぐるに
 福地乃名をいふと云ふは福地院と云ふは河をたぐるに
 舎佛圖ありてと云ふと中須谷と云ふは河をたぐるに
 きを先よきと云ふと云ふは河をたぐるに
 よりの寺を和守ありて河をたぐるに
 中須谷と云ふと云ふは河をたぐるに
 ありて河をたぐるに

八巻 橋七之巻終

東国名不重橋八目錄

- 一大東院 松浦名 鬼塚山
- 一大興院 松浦名 鬼塚山
- 一傳光寺 子母河 川橋寺 法華寺 年分
- 一橋次池 橋次池
- 一石井神社 石井神社

河内之馬場 大乗院 松浦云 鬼張山

大乗院

不審う辻

五福五神

世に流るる乃馬場と云ふ所の... 此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて...

此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて...

此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて... 法師のいふに童ふして十餘歳ありて... 此の山に鬼と云ふものありて...

一卷之二
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一
一卷之一

維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子

程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程

神保
素山丹
平野
小堀
山口
仙
石
藤
夏
唐
根
赤
河
奥

一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二
一卷之二

維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子
維子

程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程
程

吉野
柳生
小堀
長谷
三好
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松
赤松

八卷之二

一 権子定 権子定 前并六条村

一 権子家 松平山城守 一 権子家 村越長門守

一 権子家 村越長馬亮 一 権子家 中并大和守

一 権子家 松平吉盛 一 権子家 鈴木徳之助

一 権子家 吉田源兵衛 一 権子家 東条伊三郎

一 権子家 二条友房 一 権子家 有馬徳兵衛

一 権子家 依後徳房 一 権子家 全長八郎元信

一 権子家 孝徳大助 一 権子家 大藏源兵衛

一 権子家 長原村 一 権子家 夙村

一 権子家 山村徳宗より

一 権子家 権子二三百大羽衣百之権子之権百字二定と有月共系
同大目よりよと和宗中よりいふ宿家へよりいふと有月共系
かより

一 権子家 権子七孫二定 春日両文八幡

一 権子家 権子九定 時之南

一 権子家 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定 権子十定

一 権子家 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定 権子十一定

一 権子家 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定 権子十二定

一 権子家 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定 権子十三定

一 権子家 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定 権子十四定

一 権子家 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定 権子十五定

傳光寺

傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺 傳光寺

一 権子家 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定 権子十六定

一 権子家 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定 権子十七定

一 権子家 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定 権子十八定

一 権子家 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定 権子十九定

一 権子家 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定 権子二十定

乃たるのふふありて軍勢乃いふは...
と云ふといふりありて...
のきふ乃いふ年の朴相...
あふゆに毎月朔日所乃老人高僧...
け非とて...
いふ...
行基...
とら...
後...
あよ...
さの...
乃...
後...
あ...
い...
あ...

後河乃池

後河乃池 標塚

池... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

水浸 秋満 泥
今靈 誰見 藻中 玉

文章博士原原... 神... 醉為先王... 穀...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

とれしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて
とてしをうきまひのあはれはなほいふのこころのしんりつとて

乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて
乃中難あてまのあらそ九品難を要よとらひのこころのしんりつとて

この神のやう



一この神のやうと云ひしは... 此の神のやうと云ひしは...
 一此の神のやうと云ひしは... 此の神のやうと云ひしは...
 一此の神のやうと云ひしは... 此の神のやうと云ひしは...
 一此の神のやうと云ひしは... 此の神のやうと云ひしは...
 一此の神のやうと云ひしは... 此の神のやうと云ひしは...

乃神祠

乃神祠... 乃神祠... 乃神祠... 乃神祠...
 乃神祠... 乃神祠... 乃神祠... 乃神祠...
 乃神祠... 乃神祠... 乃神祠... 乃神祠...



Handwritten text on the right edge of the right page, possibly a page number or marginal note.

